

幸年期 Café

with

やまなし

HPV ワクチン接種の積極的勧奨を討議する今、
彼女たちの声を聴いて考える Cafe
後発医薬品になぜ睡眠薬が混入したのか、被害の実態は

医療や介護の中でたくさんの薬があたりまえのように使われています。
薬を安全に使うための仕組みは、薬害事件の教訓がいかされ、制度になっています。
医療安全においても、加害者にも被害者にもならないため、
事例分析を行い、共有することからはじめていくことが重要です。
興味関心のある皆様のご参加をお待ちしています。

〈日時〉 令和3年 **11月1日**(月) 19:00~20:50

申込締め切り
開催日の2週間前まで

19:00~19:10 **医薬品流通不備の原点にある医薬品への尊厳を取り戻したい**

宮原富士子 (NPO 法人 HAP 理事長 薬剤師)

19:10~19:20 **薬害被害者の声を聴き考えること**

新型コロナワクチン副反応の現状

中村由喜 (TAYA 研究会 薬剤師)

〈当事者の声に耳を傾ける〉 ナビゲーター：中村由喜、宮原富士子

19:20~19:50 **HPV ワクチンの副反応被害の方に寄り添った活動**

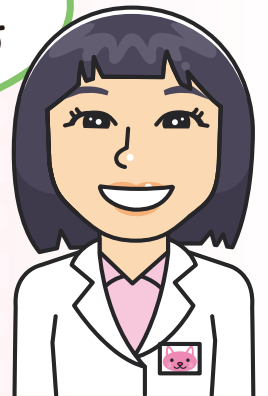
江川守利氏、当事者の声

19:50~20:05 対話の時間

20:05~20:50 **医療安全を遵守してゆくために**

飯島久子 先生 (静岡県立静岡がんセンター RMQC 室 参与 薬剤師)

薬の歴史と哲学大事
くすりは正しく
使いたいものです



〈参加費〉 NPO 法人 HAP 会員 500 円 (半年パスポート利用可)、非会員 1,000 円

日本薬剤師研修センター研修受講シールの発行はありません

〈申込方法〉 HAP 研修申込管理システム (HAP の HP に掲載もしくは下記 QR コード) よりお申し込みください

WEB 開催!!



(NPO 法人 HAP は ZOOM コンサル
ティング会社と提携して安全確保に
努めた形式での開催を考えています)



お申し込みは
こちらから

【共催】 特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women (HAP) ・ TAYA 研究会

[連絡先] Tel : 090-9824-8395 (中村)